

トピックス

講道館杯全日本柔道体重別選手権大会
52kg級 第3位

宮川 拓美



昨年はいくさんの方々のお陰で試合復帰すると同時に全日本実業団個人戦優勝、講道館杯3位という成績を残すことができました。

怪我で苦しんだ時期もありましたが、そのお陰で自分自身成長することができたと思います。上を目指すのはもちろんですが、今は柔道を楽しむということを第一に励んでいます。今年は出る大会全て優勝することを目標に1日1日を大切に、周囲の方々への感謝の気持ちを忘れず日々精進していきたいと思っています。

第48回全国中学校柔道大会
男子81kg級 第3位

津幡中学校 3年 松永 蓮太郎

僕の柔道人生の一つの節目である全国大会を終えて感じたことは、達成感よりも今まで様々な方に支えられてきたことに対する感謝の気持ちでした。中学入学時からの目標であった全国大会3位入賞が達成できたのも様々な支えがあったからこそものだと思います。

これから先の人生においても「勝負」がたくさんあると思います。僕は、どんな時でも感謝の心を忘れず、周囲の方の支えや応援を力に変えて頑張ります。今まで本当に有難うございました。



第48回全国中学校柔道大会
女子70kg級 ベスト8

高尾台中学校 2年 辻 なる



私は、福岡県で開催された全国大会に出場しました。昨年出場することができなかった夢の舞台に立てたことがとても嬉しかったです。試合では、準々決勝の延長戦で自分の弱さに負け、準決勝へ進出できずとても悔しい思いをしました。この悔いを今年こそは果たします。

全国大会では、多くの方々の支えと応援が自分の背中を押してくれました。そのおかげで全力を出すことができたと思っています。本当にありがとうございました。今後も皆様の期待に応えられる選手になるよう頑張ります。

第14回全国小学生学年別柔道大会
5年生男子 45kg超級 ベスト8

犀川柔道教室 5年 野澤 貴哉



僕は、北海道で開催の全国小学生学年別柔道大会に出場してきました。

大会当日、僕は第一試合で緊張していたけど試合開始で緊張はなくなりました。

結果はベスト8になる事が出来たけど、準々決勝はポイントを取れずに判定で負けてしまいました。自分では努力したと思っていたけど、全国の強い選手には及ばないと知りすごく悔しかったです。

先生方、一緒に練習してきたみんな、両親に、そして柔道を始めたときからずっと一緒に練習して戦ってきた兄の敦貴、言ったことがないけどありがとう。これからもよろしくお願いします。更に努力して強くなって次は絶対優勝します。

石川県柔道連だより

第18号

2018年 4月 日
発行 石川県柔道連盟
編集 広報委員会

『2018年の年頭に想うこと』



県柔連会長
西 恒 成

明けましておめでとうございます。
平成三十年、東京オリンピックが近づいて来ました。石川県柔道連盟にはロンドン、リオと松本薫選手スターが大活躍され、皆さんも知っての通り金・銅メダルを取りました。
東京2020には「どんな選手が出るか今からが勝負ではないか」と思われます。
松本選手も結婚され子供が生まれました。
昨年の10月頃から東京オリンピックに向け練習を始められたそうです。皆さんで応援をしましょう。
今、県柔道の目標は柔道人口の増加、人口少子化時代に負けずに皆さんに柔道の良さを知ってもらう事。
それには、小さい子供達からお母さん老人達で気軽に出来て親子でも練習が出来る形が一番良いのではないかと。
形を修得する事により、乱取又試合中の技の攻防に生かされるのである。

少年教室の先生、指導者の皆さん、乱取の合間に形の練習も取り入れて下さい。
今年度の目標は形の普及指導を各教室の先生方をお願いして普及に務める。
形の速習は柔道の基本である礼法、技の習得、相手を投げる時の間合いの取り方色々な事が含まれています。
又、柔道舞踊もお母さん達子供さんに習得させていただき、発表するところを柔道の試合の時でも色々な所で発表出来るよう努力致します。
少年団の武田団長を始め各先生方には昨年大会を一つ少なくて、全柔道のスーパースターを講師にお願いして講習会をしていただきました。
大変好評で今年度以降も続けていただき子供達に夢を見させていただきたい。
平成三十年 元旦
今年も元気に頑張ります。



2017 表彰

2018年1月7日の稽古始めにて県柔道連盟「年間優秀選手賞」の表彰が行われました。

東アジア・カデ選手権	男子 66kg級	優勝	若 狭 智 也
講道館杯全日本柔道体重別選手権大会	女子 52kg級	第3位	宮 川 拓 美
第48回全国中学校柔道大会	男子 81kg級	第3位	松 永 蓮太郎

2017年 稽古納め



2018年 稽古始め



委員会報告

総務委員長 本出 正博

平成29年度の石川県柔道連盟各種行事も、会員各位のご協力により滞りなく終了できましたことに深く感謝申し上げます。

西会長の下、本連盟が取り組んできた重点事項が5つあります。「中学校柔道授業への支援、競技力の向上、柔道人口の拡大、安全指導の徹底、形の普及」です。

本県においては、中学校柔道授業の支援や安全指導の徹底に取り組んでおり、授業並びに競技においても重大な事故も起こっていないことは大変喜ばしいことと思います。また、形の普及に関しては柔道舞踊の披露・後継者発掘、そして稽古始め時で披露する取り組みも行っております。

しかし、数年来の課題である競技力の向上と競技人口の拡大に関しては、思うような結果が出てきていないのが現状であります。現在連盟としても強化の見直しや柔道教室の開催等で変革を進めておりますが、これこそ連盟一体となって継続的に取り組まなければならないと思っております。

いよいよ再来年度には当連盟70周年を迎えることになります。東京オリンピック前年に、このような行事を迎えられることは大変喜ばしいことであります。是非、会員の皆様と共により飛躍していく連盟を築いて参りたいと思いますので、今後とも、ご支援ご協力の程よろしくお願い致します。

審議委員長 福島 正俊

平成29年4月から、講道館登録料に係る消費税を納付者から徴収しております。合格手数料納入の際、面倒でもお釣りの要らないようにお願いします。

同じく4月から、初段に昇段できる最少年齢が、14歳から中学2年生に改正されました。この改正により、初段受審者が増えるのではないかと思っていたのですが、昨年同期に比べて、64名の減少となっています。

高校卒業までに二段取得を目指すには、中学生で初段を取得することです。二段昇段候補者の修行年限は「可」判定で3年。得点は3点となっています。試合結果は、昇段時必要となるので、確実に残しておいて下さい。

本年度も、嘉納師範が理念とした「精力善用」、「自他共栄」の言葉を忘れず、相手を敬い、「正しく組んで一本を取る柔道」を指導していきたいと思っています。

競技委員長 道上 寛之

今年度も皆様のご協力のもと、県柔連主要6大会が無事終了することができました。各大会に際し、広報並びに登録委員会のご協力のもとホームページやメール配信等を活用することで、円滑に大会準備、運営を行うことができました。

また、ここ数年開催が危ぶまれていた社会人大会ですが、皆様のご協力で今年度は23チームが出場しました。他の大会では見られないような和やかな雰囲気の中、選手同士が交流を深めあった大会となったように思います。今後も大会を通じて、柔道愛好家の交流が深まることを願っております。

大会運営において至らない点が多く、何かとご迷惑をおかけしたことをと思いますが、今後も円滑な大会運営が出来るよう努力していきますので、皆様のさらなるご協力をいただきますようお願いいたします。

審判委員長 渡辺 直勇

平成29年度、石川県柔道連盟主催による13大会15日間の大会が無事終了する事が出来ました。これも偏に審判員を引き受けて頂いた関係各位のお陰と心より御礼申し上げます。2020東京オリンピックが開催されるまでのルール改正が行わ

れました。そこで、技有の合せて1本が復活する等、大幅に改正されております。審判員は、戸惑いがまだまだ生じると思います。審判委員会としても審判講習会等を、昨年同様に開催する予定でおります。ライセンスに関係なく多くの方に参加して頂き、早急に新ルールを熟知し対応して頂きたいと考えております。また、審判員の参加や派遣に関しても各地区、及びカテゴリーで選出して頂くことが多くなると思います。よろしくお願い致します。

形委員長 上濃 達朗

形委員会の活動として年五回の形講習会、北信越形選手権大会への選手派遣および強化を行っております。形講習会では初段・弐段・参段の講習を行っておりますが、前年度と比して受講者は17人減少しております。昇段審査受験者以外の方でも自己研鑽の為の受講が増える様、在任期間中は努力して行きたいと思います。形選手権におきましては、1組でも多くの全国大会出場者を輩出できるよう努めたいと思います。

強化委員長(男子) 中村 聡

今年度の国民体育大会は、愛媛県松山市で開催され少年男子が出場しました。第2回戦で広島県と対戦し1対2で惜敗しました。組合せ発表から厳しい戦いになることは予想されましたが、選手は個々の持てる力を十二分に発揮してくれました。来年度は、今回出場した選手が2名残ります。今年以上の活躍を期待します。

成年男子は、今年度からブロック予選が始まりました。今まで、県で代表になれば本国体に出場出来ていたが、北信越5県から代表1枠の争いに変わり大変厳しいものになりました。予選は、福井県武道館にて、各県代表が集まり総当たりリーグ戦にて行われ、結果は2勝2敗の3位。代表は、新潟県でした。代表となった新潟県は、企業のふるさと選手を使い頭一つ抜き出た存在ではありますが、本県においても、ふるさと選手を上手く活用出来れば代表枠を勝ち取ることが可能かと考えます。この件においては、県体協からも反省会場で強く猛省を促されているため、来年度の課題としたいと考えます。

強化委員長(女子) 西村 裕樹

今年度も各所属の関係者の方々には多大なるご協力をいただきありがとうございました。

今年度より、成年と少年が一つになり「女子」というカテゴリーとなり5人制で実施することとなりました。成年と少年の連携した強化の重要性を認識しながらも、日程の調整不足から、合同での合宿及び強化練習会の実施が不十分な中で、それぞれの強化合宿のみという形で大会に臨む事となり、3位という不甲斐ない結果となりました。来年度は、単県での出場となっており、早い段階で強化指定選手を集合し、合同での強化練習会や合宿を開催し、「チーム石川」という意識を持たせ、上位進出を目指します。引き続き、ご指導ご協力のほど、よろしくお願い致します。

指導普及委員長 川端 健司

昨年度は皆様のご協力のもと、全事業を無事終えることができました。ここに深く感謝申し上げます。

さて、昨年度より全ての全柔連公認柔道指導者がポイント取得制へ完全移行しました。その影響もあり、12月に開催されたB指導員養成講習会およびC指導員養成講習会では、例年に比べて多くの受講者が参加し、活気ある講習会となりました。特に安全指導や実技指導では、指導カテゴリーの枠を越えて情報交換を行う場面が印象的でした。今後も縦の繋がり、横の繋がりを活かした講習会の実施に努め、県全体の指導力向上と普及振興を図りたいと思います。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

大会成績

〈 小 学 生 〉

第37回全国少年柔道大会 5/5 東京・講道館

団体	窪田柔道倶楽部				
	予選リーグ	2－3	鍊心館岡野道場(千葉)		
		2－2	更生館道場(和歌山)		
			(内容負け)		

第14回全国小学生学年別柔道大会石川県大会 6/12 松任啓武館

男子個人	小学5年	45kg級	優勝	野中 海心(鶴来坂田道場)	
	小学5年	45kg超級	優勝	野澤 貴哉(犀川柔道教室)	
	小学6年	50kg級	優勝	本吉 嵩琉(邑知少年柔道教室)	
	小学6年	50kg超級	優勝	松川 想良(窪田柔道倶楽部)	
女子個人	小学5年	40kg級	優勝	黒宮 美咲(全日本柔道少年団小松分団)	
	小学5年	40kg超級	優勝	渡辺 杏樹(内灘町少年柔道教室)	
	小学6年	45kg級	優勝	山下 万葉(鶴来道場)	
	小学6年	45kg超級	優勝	林 弘華(中能登柔道教室)	

第14回全国小学生学年別柔道大会 8/20 北海道立総合体育センター

男子個人	小学5年	45kg級	野中 海心(鶴来坂田道場)	1回戦敗退
	小学5年	45kg超級	野澤 貴哉(犀川柔道教室)	ベスト8
	小学6年	50kg級	本吉 嵩琉(邑知少年柔道教室)	3回戦敗退
	小学6年	50kg超級	松川 想良(窪田柔道倶楽部)	2回戦敗退
女子個人	小学5年	40kg級	黒宮 美咲(全日本柔道少年団小松分団)	2回戦敗退
	小学5年	40kg超級	渡辺 杏樹(内灘町少年柔道教室)	2回戦敗退
	小学6年	45kg級	山下 万葉(鶴来道場)	1回戦敗退
	小学6年	45kg超級	林 弘華(中能登柔道教室)	2回戦敗退

第42回石川県少年柔道大会 11/12 石川県立武道館

団体戦1部	優勝	窪田柔道倶楽部	2位	鶴来坂田道場
	3位	中能登柔道教室	3位	邑知少年柔道教室
団体戦2部	優勝	犀川柔道教室	2位	鶴来道場
	3位	野々市中央分団	3位	雄志館
団体戦3部	優勝	松任柔道スポーツ少年団	2位	加賀聖武館少年柔道教室
	3位	石野正武塾	3位	全日本柔道少年団七尾分団
男子個人				
小学男子軽量級	優勝	西崎 昊(松任)	小学女子軽量級	優勝 西 結穂(野々市)
小学男子中量級	優勝	倉又 龍心(坂田)	小学女子重量級	優勝 林 莉帆(中能登)
小学男子重量級	優勝	松川 想良(窪田)		
中学生男子の部	優勝	古谷 涉(松任)	中学生女子の部	優勝 辻 なる(窪田)

第38回全国少年柔道大会 3/11 石川県立武道館

団体	優勝	窪田柔道倶楽部	2位	犀川柔道教室
	3位	邑知少年柔道教室	3位	中能登柔道教室
男子個人			女子個人	
小学3年	優勝	水道 啓人(中能登)	小学3年	優勝 三崎せれな(坂田)
小学4年	優勝	喜多 雄大(坂田)	小学4年	優勝 廣江 清葉(窪田)
小学5年	優勝	野澤 貴哉(犀川)	小学5年	優勝 中村 美羽(七尾)
小学6年軽量級	優勝	伊藤 光輝(松任)	小学6年軽量級	優勝 新木 美紅(石野)
小学6年中量級	優勝	倉又 龍心(坂田)	小学6年重量級	優勝 林 弘華(中能登)
小学6年重量級	優勝	野澤 敦貴(犀川)		

〈 中 学 生 〉

第60回石川県中学校総合体育大会 柔道競技 7/15～16 石川県立武道館

男子団体	優勝 笠間中	2位 内灘中	女子団体	優勝 北辰中	2位 鶴来中
	3位 北辰中	3位 邑知中		3位 笠間中	3位 邑知中
男子個人			女子個人		
50kg級	優勝 山本 立(鶴来中)		40kg級	優勝 吉澤 美結(城南中)	
55kg級	優勝 岡部 紘典(邑知中)		44kg級	優勝 平田 絢子(北辰中)	
60kg級	優勝 大塚 遥人(中能登中)		48kg級	優勝 坂田 彩里(北辰中)	
66kg級	優勝 本田 優真(松任中)		52kg級	優勝 深田 涼子(中能登中)	
73kg級	優勝 尾古 礼夢(内灘中)		57kg級	優勝 山田 佳恭(鶴来中)	
81kg級	優勝 松永蓮太郎(津幡中)		63kg級	優勝 喜多なつみ(北辰中)	
90kg級	優勝 山森 晴翔(中能登中)		70kg級	優勝 辻 なる(高尾台中)	
90kg超級	優勝 寺口 昂(北鳴中)		70kg超級	優勝 安田 美友(津幡中)	

第38回北信越中学校総合体育大会 柔道競技 8/2 長野運動公園総合運動場総合体育館

男子団体	優勝 笠間中学校	3位	内灘中学校
男子個人			女子個人
50kg級	優勝 山本 立(鶴来中)		44kg級 3位 平田 絢子(北辰中)
	3位 大河内優斗(高尾台中)		48kg級 3位 山出 愛実(邑知中)
55kg級	3位 岡部 紘典(邑知中)		52kg級 優勝 北野 那美(中能登中)
60kg級	優勝 大塚 遥人(中能登中)		3位 深田 涼子(中能登中)
66kg級	優勝 本田 優真(松任中)		63kg級 3位 喜多なつみ(北辰中)
	2位 瀧田 基矢(北辰中)		70kg級 優勝 辻 なる(高尾台中)
73kg級	3位 広岡 侑希(北鳴中)		
81kg級	優勝 松永蓮太郎(津幡中)		
90kg級	2位 山森 晴翔(中能登中)		
	3位 島田 拓魅(高尾台中)		

第48回全国中学校柔道大会 8/22～25 福岡国際センター

男子団体	笠間中学校	女子団体	北辰中学校
予選リーグ (1勝1敗・予選リーグ敗退)		予選リーグ (2敗・予選リーグ敗退)	
2－②松山西 (愛媛)		0－3 帝京 (東京)	
1－0 みずき (群馬)		0－2 川辺 (鹿児島)	
男子個人		女子個人	
50kg級 山本 立(鶴来中)3回戦敗退		40kg級 吉澤 美結(城南中)1回戦敗退	
55kg級 岡部 紘典(邑知中)2回戦敗退		44kg級 平田 絢子(北辰中)2回戦敗退	
60kg級 大塚 遥人(中能登中)3回戦敗退		48kg級 坂田 彩里(北辰中)1回戦敗退	
66kg級 本田 優真(松任中)2回戦敗退		52kg級 深田 涼子(中能登中)3回戦敗退	
73kg級 尾古 礼夢(内灘中)1回戦敗退		57kg級 山田 佳恭(鶴来中)1回戦敗退	
81kg級 松永蓮太郎(津幡中)	3位	63kg級 喜多なつみ(北辰中)2回戦敗退	
90kg級 山森 晴翔(中能登中)2回戦敗退		70kg級 辻 なる(高尾台中) ベスト8	
90kg超級 寺口 昂(北鳴中)2回戦敗退		70kg超級 安田 美友(津幡中)1回戦敗退	

目指せ東京五輪・パリ五輪!!

石川の期待の星 若狭 智也



台湾の台北市で2017年9月23日に行われた東アジア・カデ選手権男子66Kg級で鶴来高校2年の若狭智也選手が優勝を果たしました。



目指せ東京五輪(パリ五輪)!!を目指して 東アジア・カデ選手権 男子66Kg級 優勝

石川県立鶴来高等学校 柔道部
2年 若狭 智也

私は、現在、鶴来高校のスポーツ科学コースに在学し、勉学とスポーツそして特に柔道に打ち込んでおり毎日充実した日々を過ごしております。

先生方の熱心な指導や、部員のみんなも仲が良く練習が終わったら笑い話で盛り上がりしています。そしてスポーツ科学コースというように鶴来高校は1週間に9時間も体育関係の授業があり、自然と体力強化や栄養に意識できるようにもなってきました。

柔道の戦績については、1昨年前の高校選手権個人戦では3位。全日本カデ選手権個人戦で2位、順調に結果を出し続けられるかと思っていましたが、ジュニアやインターハイ、

国体では人一倍悔しい経験をしました。しかし今年は全日本カデの強化選手に選出され、さらに国際大会出場のチャンス頂きました。日本を離れ異国での大会。総てが初めての経験であり、慣れない食事なども苦労はしましたが全試合自分の良さが出せた結果が優勝でした。振り返ると悔しさと嬉しさが入り混じった1年でしたが、今後の自分自身の柔道に生きる貴重な時間だったと感じています。東京オリンピックは実力的にも時間的にも早いかもしれませんが自分自身で最大限トップの選手に迫り、そして倒せるように1日1日を大事に、そして今後の試合で活躍できるように頑張っていきたいです。

将来のメダリスト発見!

親子柔道教室 開催される

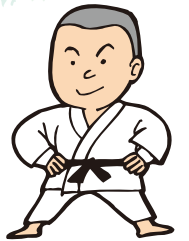
平成29年9月30日、石川県立武道館で講師に泉 浩先生・山岸 絵美先生をお招きして、親子柔道教室を開催しました。とても和やかな教室となりました。

講師プロフィール

泉 浩

- 所 属 株式会社ヴィレッジ 柔道部 監督
- 出 身 青森県
- 出身校 明治大学
- 主な戦歴

2003年	ユニバーシアード(大邱)	90kg級	金メダル
2004年	アテネオリンピック	90kg級	2位
	アジア柔道選手権(アルマトイ)		3位
2005年	世界選手権(カイロ)	90kg級	金メダル
2006年	アジア大会(ドーハ)	90kg級	3位
2008年	アジア柔道選手権(済州)		金メダル



山岸 絵美

- 所 属 三井住友海上火災保険会社 (特別コーチ)
- 出 身 長野県
- 出身校 藤村女子高等学校
- 主な戦歴

2004年	インターハイ(個人)	48kg級	優勝
2003・2005年	全日本ジュニア	48kg級	優勝(2回)
2007・2008年	アジア選手権	48kg級	優勝(2回)
2006・2008・2009年	講道館杯体重別	48kg級	優勝(3回)
2006・2008・2011年	全日本選抜体重別	48kg級	優勝(3回)
2013年	グランプリ・チェジュ	48kg級	優勝
2009・2010・2014年	グラندスラム・パリ	48kg級	優勝(3回)
2014年	アジア大会	48kg級	2位



